

# 身の回りの環境を把握するというのが、防災へのはじめの「一歩」 「家庭でできること・やるべきこと」は何か？」を考えよう

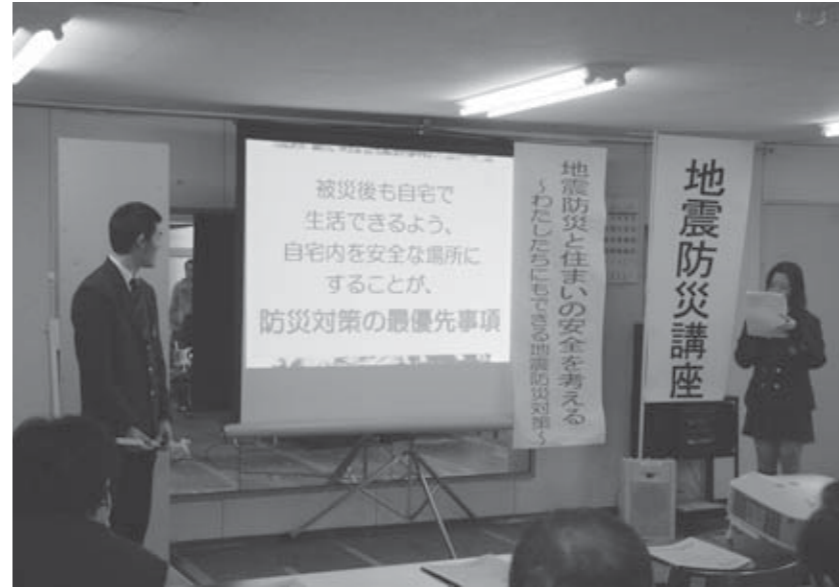
## 地震による災害をすべて防ぐことはできない ただし、被害を減らすこと（＝減災）はできる

### ★ポイントは…

- ①家具の転倒防止
- ②避難経路の確保
- ③ガラスの飛散防止

白石工業高等学校の生徒が講師  
私たちにもできる地震防災対策

本郷第三自治会の住民の皆さんが、「地震防災と住まいの安全を考える〜わたしたちもできる地震防災対策〜」と題した市民講座を、2月27日に開催した。昨年引き続き行われた本講座は、白石工業高等学



▲白石工業高等学校の生徒の発表に、参加者は真剣に耳を傾けた

校、宮城県建築士会白石刈田支部、白石市の民・学・産・官の協働による開催である。約50人が参加した講座の中で、同校建築科の生徒が、自分でできる防災対策を説明した。

### 耐震グッズを活用すると同時に 就寝位置や家具の配置に注意

講座の中で生徒は、地震が起きてまずやるべきことは、「命を守ること＝自助」。そのために普段からできることとして、①家具の転倒防止、②避難経路の確保、③ガラスの飛散防止の3つを挙げた。

自宅地震に遭った場合、家具が倒れることで避難のための通路がふさがれたり、寝ているときに家具の下敷きになったりする恐れがある。また、ガラスや食器類が割れてけがをすることも考えられる。

では、これらの被害を防ぐために何ができるか？ 突っ張り棒や固定金具など市販の防災グッズを組み合わせることで、家具が倒れないようにでき

### 家庭での意識を高めて



白石工業高等学校  
おの まさる  
建築科長 大野 勝さん

一番大事なことは一人一人の防災意識。地震の特徴を知り、身近なところから自分たちができることを考えたい。私たちは、被害を最小限に食い止めるお手伝いできればと思います。今回のような講座開催の要望があれば、どこにでも伺います。



▲突っ張り棒の使用方法を説明した

### 家具の転倒防止のために

- 家具の固定を徹底する
- 家具の重心を低くする
- 食器類はゴムのシートなどで滑り止めをする
- じゅうたんや畳には背の高い家具を置かない
- 戸棚の扉にロックを付ける

さまざまな対策をとったとしても、被害をすべて防ぐことはできない。ただ、被害を少しでも減らすことで、被災後も自宅で生活できる環境を作っておくことはできる。ガラスの飛散防止フィルムを張ることで、けがや被災後の掃除も軽減することができる。自宅内を安全な場所にするために、身の回りの環境を把握することが、防災へのはじめの一歩となる。

### 自分だけは大丈夫？ 最大の敵は「自分自身」

地震などの自然災害の脅威は誰もが知っている。しかし、それに備えて対策をとっている人がどれくらいいるだろうか？

人は、「良い情報を評価し悪い情報は無視する」習性があるとされている。確かに、すべてに不安を抱いてしまったり、人は生きていけない。しかし、「自分だけは大丈夫」という根拠のない心理が何を引き起こすか、「何も備えがなかったら何が起こるのか」ということだけは、正しく理解しなければなら

### 備えこそ最大の武器 自主防災を本気で考えよう

すべてを一人で備えることは難しい。そのためにも地域と一緒に備えることが大切となる。自主防災組織を作り、地域が繋がっていることは大きな意味がある。そして今後は、この「組織」をどのように生かすか、同時に「自分自身」がどうかかわっていくかが重要となる。この2つがうまく融合したとき、白石はどんな災害にも立ち向かうことができる「まち」となるのではないだろうか。

## 【万が一に備え…ぜひ皆さんに知っていただきたいこと】

### 非常時に最低限必要な物

- 非常食 カンパン、缶詰、バランス栄養食（赤ちゃんがいる場合は粉ミルク）、割りばし、スプーン、紙皿、ラップ、缶切りなど
- 飲料水 目安は1人1日3リットル程度。3日分くらいを用意
- 応急薬品 消毒液、ガーゼ、包帯、ばんそうこう、かぜ薬、鎮痛剤、目薬、体温計、湿布薬、マスク、生理用品、ティッシュ、ウェットティッシュ、紙おむつなど
- その他 貴重品、懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池、ライター、衣類、軍手、ロープ、ビニール袋など

### しろいし安心メール

市からのお知らせやイベント情報だけでなく、災害関係情報を配信しています。下記のアドレスに空メールを送信してご登録ください。また、二次元バーコード対応携帯電話をお持ちの方は、下記のバーコードをご利用ください。



shiro-i@posh.jp

### 白石市自主防災組織補助金

生活環境課 ☎22-1314

#### 防災対策用資機材等整備事業

自主防災組織を結成した自治会に助成します（設立後、1回限り）。

- ・定額補助（一組織） 40,000円
- ・世帯割（構成1世帯） 100円

※補助限度額は10万円

#### 自主防災組織運営事業

自主防災組織が行う訓練や研修会などの経費を助成します（年1回）。

- ・助成額 20,000円以内

自主防災組織の設立や活動についての相談も随時受け付けています。

### 白石市総合防災訓練

大規模地震災害を想定した総合防災訓練を仙南広域消防本部白石消防署との共催で実施します。

避難訓練や初期消火訓練、倒壊した家屋やブロック塀からの救出訓練のほか、列車事故を想定した救出救護訓練などを行いますので、訓練への参加とご協力をお願いします。

●日時 6月6日(日)8:20～

●会場 白川中学校

※当日8時20分ごろ、市内一斉にサイレンを鳴らして訓練の開始をお知らせします。

生活環境課 ☎22-1314

### 災害用伝言ダイヤル「171」

地震などの災害発生時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供される「声の伝言板」です。毎月1日には体験利用ができますので、あらかじめ家族や友人間で体験しておくことをお勧めします。詳しくは、NTT東日本（☎116/年末年始を除く9時～21時）までお問い合わせください。

●録音時間 1件当たり30秒以内

●保存期間 録音してから48時間

※伝言の録音可能な電話番号は、被災地（都道府県単位）にある固定電話のみです。

生活環境課 ☎22-1314

### 各種耐震対策補助

#### 木造住宅耐震対策事業

①耐震診断助成事業＝「木造住宅耐震診断士」を派遣しての耐震診断

●対象建築物 昭和56年5月31日以前に着工した木造在来工法の一戸建て住宅

●助成内容 助成対象限度額は14万4千円。そのうち市が13万6千円を助成し、個人負担は8千円。建物の延べ面積が200平方メートルを超えた部分の費用は自己負担となります。

②耐震改修工事助成事業＝①の診断で作成した耐震改修計画に基づいて、改修設計・工事を行う住宅

●助成内容 90万円まで市が3分の1を助成。残り270万円を超える費用は自己負担となります。

#### スクールゾーン内危険ブロック塀等除却事業

●助成内容 1件当たり15万円または、除却するブロック塀などの面積（平方メートル）×4千円のいずれか低い額を限度として助成します。

#### 税金の優遇制度

平成25年までに、旧耐震基準の既存住宅について現行の耐震基準に適合させる耐震改修を実施した場合や、平成22年から24年までの間に耐震改修工事が完了した建物は、所得税の控除や固定資産税の軽減が受けられる場合があります。

#### 家具の転倒防止をしていますか？

（社）宮城県建築士会白石刈田支部では、家具の転倒を防止する工事を実施しています。

※各事業の詳細は、建設課までお問い合わせください。

建設課 ☎22-1326